

## JRA東京競馬場 観戦記

幹事 丸山暢久 (4組)

5月16日(土)、恒例のJRA観戦を今年も企画し予定時刻の10:30に東京競馬場(府中市)のパドック向かいにある名馬「トキノミノル像」前に集合。まずは記念写真を撮り8階のダービールーム(VIPルーム)へ移動。今年は“オルフェブル”の名のあるパドック(部屋)に古馬17頭立て(牡馬15頭、牝馬2頭)でメインレースの京王杯スプリングカップを目指して入場。朝方の小雨も上がりコースに広がる芝の緑が眩しい。

先頭のカシワギホマレ(柏木集保氏/日刊競馬編集長、4組)から各々好き勝手な位置取りに入る。17頭の内、内国産馬(同期)は7頭、○外(知人友人)10頭と最近は○外の勢いがある。3レース辺りからゲートが開き各馬徐々に走り出す。内国産馬は他にマルコヒデキ(浅倉英樹氏、4組)、クスリノオーザ(大野正廣氏、3組)、シオカワベニマル(塩川明男氏、6組)、ワラビノブンワ(成澤文和氏、4組)、イナゲヤスハル(牧野泰晴氏、1組)とスギナミシンザン(筆者)。3,4頭は途中道草して走らず、○外数頭が掛かり気味。中々成果に結びつかない小康状態が続く。スギナミシンザンも一進一退で幾分後ろに下がる。その間クスリノオーザは何やってんだか周辺に講釈三昧で悦に入っている。マルコヒデキは例の如く落ち着いた走りで中盤後方から。イナゲヤスハルは入れ込み気味で押さえが利かず。シオカワベニマルとワラビノブンワは初出走で逆走気味。騎手も頭を抱えて勝手放題。その内に牝馬1頭が雄叫び?を上げて先頭に出る。

カシワギホマレはテレビ解説で一旦退場。

昼になり一時水入りで今年は初めてお弁当を注文。その他に焼き鳥、ソーセージ等おつまみも各種。やや馬体重は重くなったが後半戦に突入。昼には良馬場になり各馬夫々勝手に走り出す。概ね勝敗が見え始めた頃スギナミシンザンが久し振りにメインを取り先頭集団へ。結局勝ち馬が4,5頭、その他は来年に向けて強めの調教をするという課題を背負って無事完走。クスリノオーザの馬講釈を聞きながら全頭満足な表情で記念写真を撮り散会。皆さんしっかり調教しましょう!(2015年5月18日記)

### 【次ページ写真説明】

1. トキノミノル像の前で、前列左から柏木、成澤、浅倉、後列左から塩川、牧野、女性に右に大野(丸山が撮影)
2. ダービールームにて、前列左から丸山、女性の右に柏木、成澤、後列左から6人目塩川、浅倉



写真1



写真2